

常任理事国入り超党派で

国連安全保障理事会の

常任理事国入りを目指す

超党派の「国連改革議連」

が25日発足し、自民、民

主、公明3党の計70人が

呼びかけ人に名を連ね

国連改革議連発足

た。共同代表に自民党の

安倍晋三幹事長代理(当

選4回) 写真①、民主

党の前原誠司・「次の内

閣」外相(同) 同②、

公明党の高木陽介広報局

長(当選3回) 同③

世代交代にらみ

若手結集

を選び、中堅・若手議員

い。憲法とのかかわりを

す派閥領袖らを「中2階」と命名、次期総裁選で若手候補の擁立を模索して

主導の議連となった。

含めて、タブーのない議論をしたいと強調した。

初会合で、安倍氏は「国

論をした」と強調した。

連改革の機運をつかみ、

今後、北岡伸一国連次席

世界の平和と安定に尽力

大使などから意見聴取し

しなければならぬ」と

た上で、議連としての提

あいさつ。前原氏は「常

言をまとめる。

任理事国に入って何をす

議連幹事長に就いた自

るのか、目的意識をはっ

民党の山本一太参院議員

きり持たないといけな

は「ポスト小泉」を目指

おり、自民党側出席者の大半に安倍氏を旗頭に党内若返りを目指す思惑がある。一方、民主党の前原氏も岡田克也代表の後継をうかがう有力候補の一人であり、与野党にまたがる世代交代の動きとして注目されそうだ。

【中西拓司】

